

映像制作を通じ、働く意義や楽しさ、勉強する意味を伝えた。



想像を超えるムービーの創作は豊かな人、働きがいのある職場から。経営者も社員も学び続ける

株式会社エム.ビデオプロダクション

経営理念の導入により社員を大切にす会社へ

プライダルや発表会、イベント、テレビ局の報道取材など多様な映像を制作する株式会社エム.ビデオプロダクション。披露宴の終幕に挙式当日の映像を上映する、いまや定番の演出「エンディングムービー」を日本で初めて商品化した会社だ。

同社では、「私達はいつもお客様の想像をはるかに超えるムービー創作に挑戦します」を経営理念の1つに掲げている。宮野晃代表取締役社長は「経営理念の実現のためには、社員が『この会社で働き続けたい』と思える、経営者と社員がともに成長できる職場環境が必要不可欠」と話す。

かつては、会社を軌道に乗せたいという思いから、徹底した業務管理による効率化を進めたほか、直接利益を生まない社員教育等は極力削減する等、会社の利益追求を優先する傾向にあった。ところが、売上が順調に伸びる中で、社員のミスが目立つようになってきた。これは日々の業務に追われ、本来行うべき業務までやめてしまっていたこと

や、ミスの再発防止に向けた対策を検討する等、社員が主体的に業務に取り組む意識が持てないことが原因だった。そこで、こうした状況を変えるため、会社の存在意義や価値観を示す経営理念を導入。「経営理念を掲げたことにより、会社にとって最も重要なのは、売上よりも『社員』であることに気付いた。『社員』を大切にしなければ、経営理念の実現に向けて良い仕事はできない。この気付きがきっかけとなり、会社が少しずつ変わり、取り組んできたことが結果的にワークライフバランスや働き方改革につながっている」と宮野社長は話す。

地域貢献にもひと役、社員の自主的な取り組みを促す

同社では、経営理念の実現のために、「社員共育（経営者と社員が共に育つ）」をキーワードとして、人材育成に力を入れてきた。一例が、月2回の全社員が集まる勉強会だ。業務以外のテーマも題材とすることによって、社員の全人格的成長につながるよう工夫している。また、制作部門においては、エンディングムービーのコンテストを毎月実施しており、社員間で作品の評価や表現技術の説明をすることにより社員のスキル向上が図られ、何よりも社員のモチベーションの喚起につながっている。

良好な職場風土を築くため、コミュニケーションの活性化も重視。社員同士の親睦を深めるために、前述の勉強会後に、全社員でのランチ会を月1回開催し

ている。また、毎日の朝礼で24時間以内であった「良かったこと」を発表し合うことによって、お互いの人となりを知り、相互理解を深めることにつなげている。

今年度は新たな取り組みとして、ワークライフバランス推進委員会と福利厚生委員会を立ち上げた。ワークライフバランス推進委員会が中心となり、地域の子ども達を応援したいという想いに加え、社員自身がワークライフバランスについて考えるきっかけ作りとして、2018年10月に近隣の小学生を招いた「職業体験学習会」を初めて開催。「映像制作」に対する社員のやりがいにつながるるとともに、大きな励みとなった。福利厚生委員会では、年1回の社員旅行を宮野社長に代わって企画。「委員会の活動を通じ、社員の自主性を育むことにつながれば」と宮野社長は話す。

さらに、社員に映像制作等の業務に集中してもらうために、外出先からでもスムーズに社員同士の情報共有ができるITツールを新たに活用。業務の効率化を進めており、今後も工夫していきたい考えだ。

同社は、これからも会社のあるべき姿を探求し、人材の育成と職場の活性化に取り組む、社員とともに成長を続けていく。



「地域や社会から必要とされる良い会社を目指したい」と話す宮野社長

DATE

所在地 金沢市田上さくら3-87

代表者 宮野 晃

設立 1989年

従業員数

13名(男:5名/女:8名)

事業内容

映像撮影及び編集、DVD制作